

中央環境審議会
第2回自然環境・野生生物合同部会

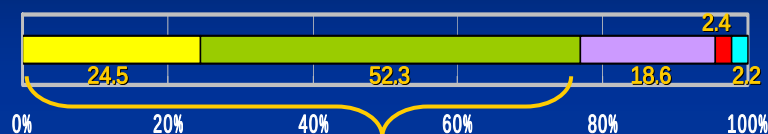
新・生物多様性国家戦略の点検について

平成16年10月12日

自然への関心度

75%以上の人々が自然に関心がある

■ 非常に関心がある ■ どちらかといえば関心がある ■ あまり関心がない ■ 全然(全く)関心がない ■ わからない



7割が関心を持っている

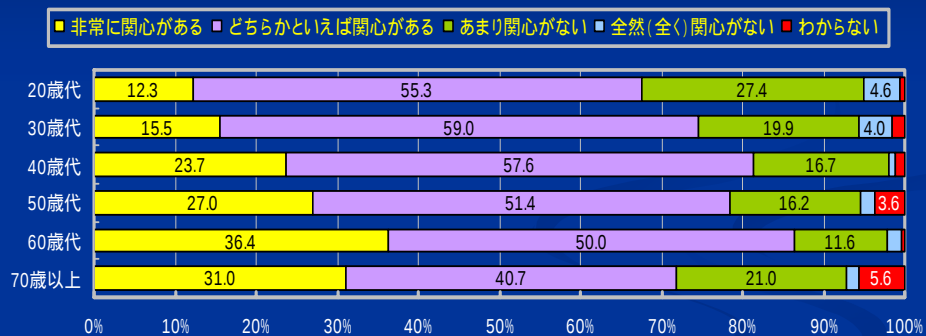
「非常に関心がある」は男性が多いが、総じて女性の関心が高い

■ 非常に関心がある ■ どちらかといえば関心がある ■ あまり関心がない ■ 全然(全く)関心がない ■ わからない



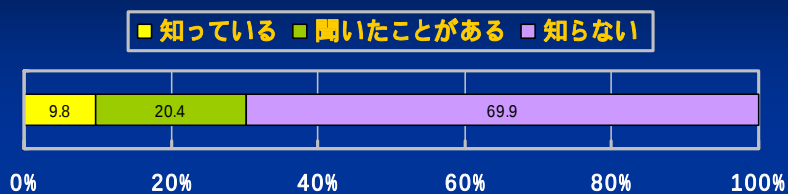
自然への関心度

年齢が高くなるほど自然への関心が高い

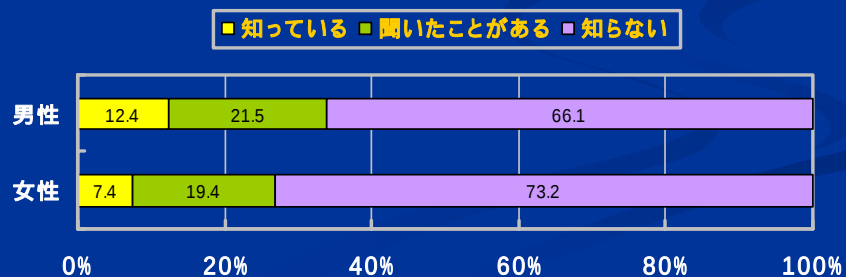


生物多様性という言葉の認識状況

知っている(聞いたことがある)人は約3割

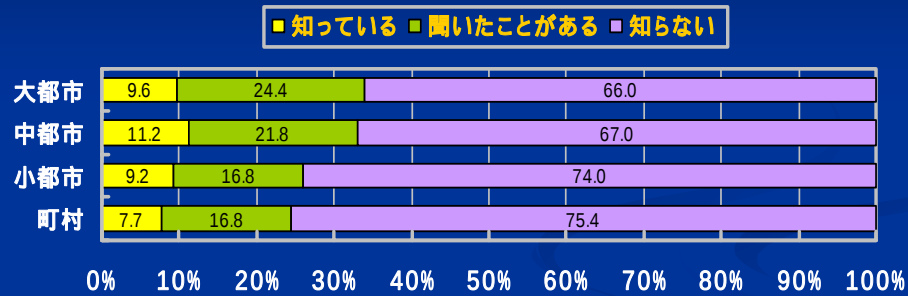


「生物多様性」については男女で認識度に差がある



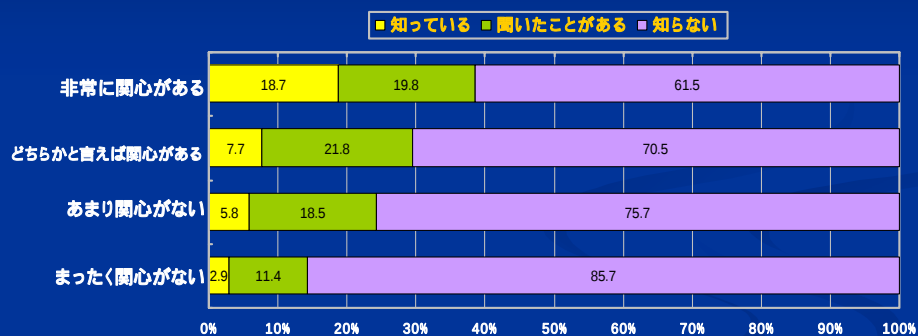
生物多様性という言葉の認識状況

都市規模が大きいほど「生物多様性」の認識度が高い



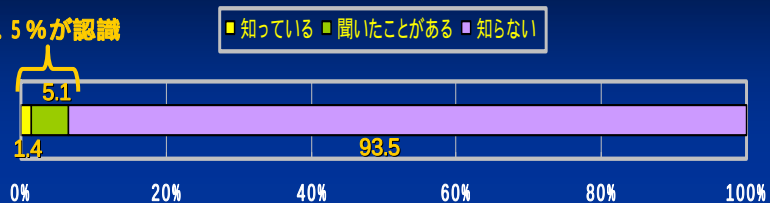
生物多様性という言葉の認識状況

自然への関心度が高いほど「生物多様性」の認識度も高い

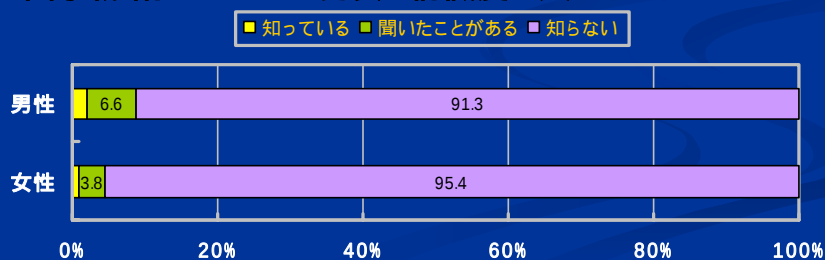


生物多様性国家戦略の認識度

6.5%が認識

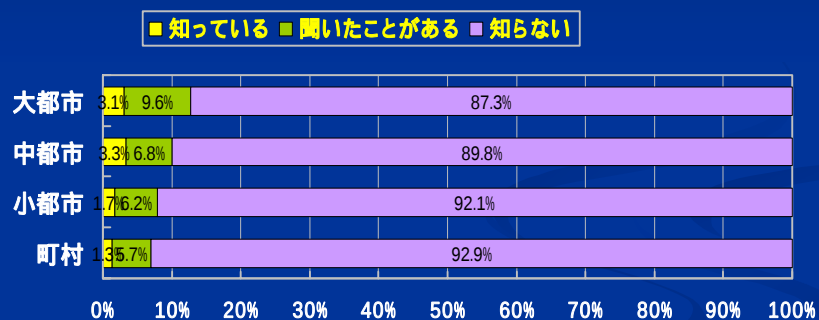


「国家戦略」については男女で認識度に大きな差がある



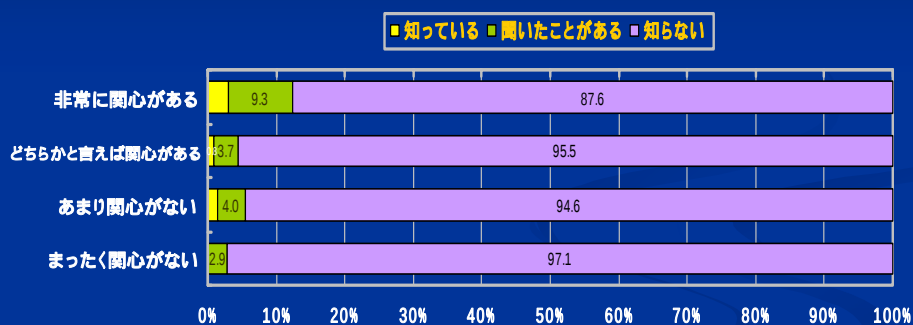
生物多様性国家戦略の認識度

都市規模が大きいほど認識度が高い



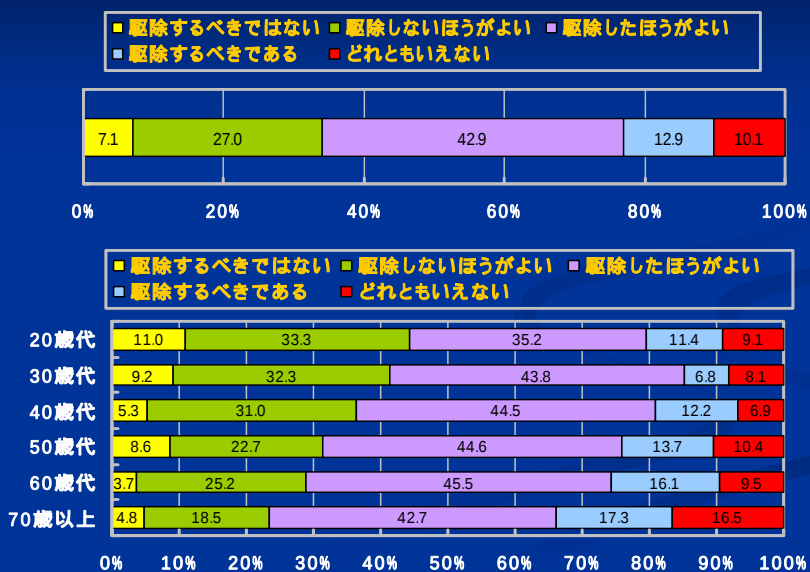
生物多様性国家戦略の認識度

自然への関心度が高いほど「生物多様性国家戦略」の認識度も高い

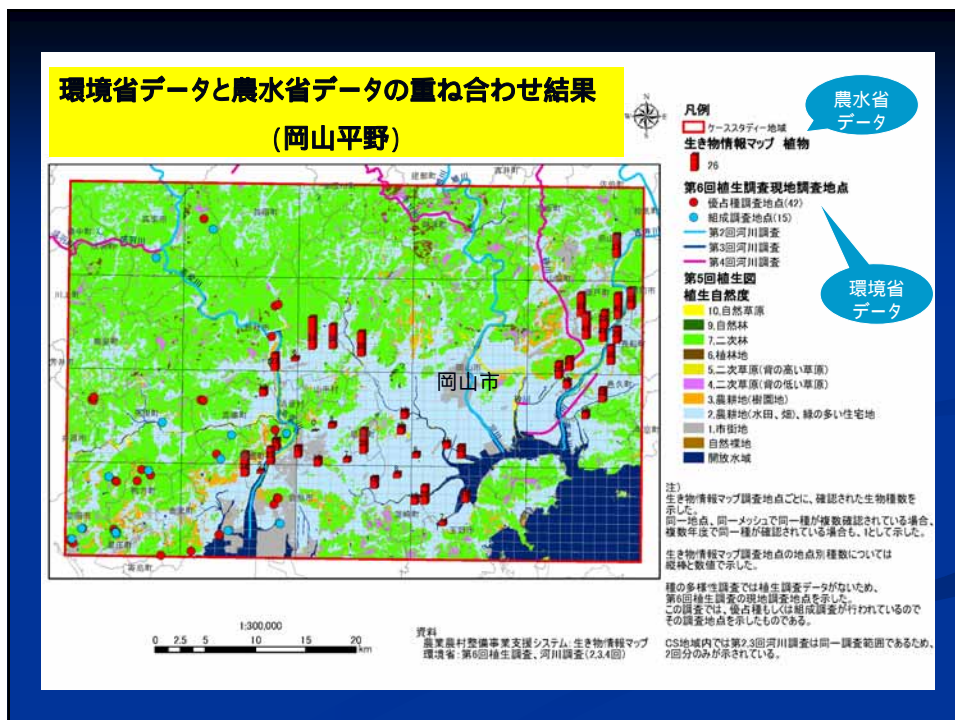
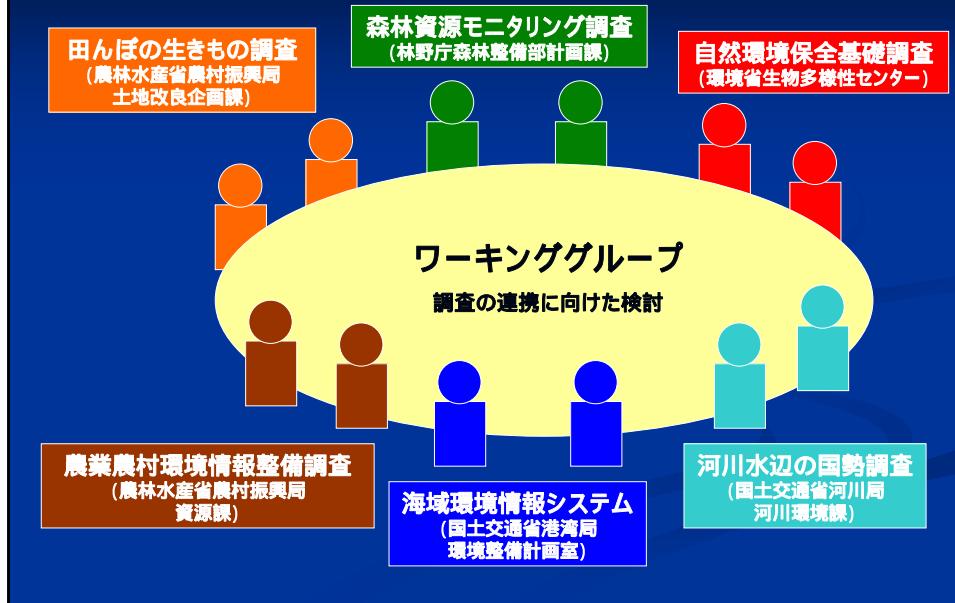


命の大切さと生物多様性

生物の多様性を喪失させる「外来種等」の駆除の賛否について



環境調査の連携について



エコロジカルネットワークについて

生物多様性国家戦略

第2部 第2章 第1節 重要地域の保全と生態的ネットワークの形成

地域固有の生物相の安定した存続、あるいは減少した生物相の回復を図るためには、十分な規模の保護地域を核としながら、それぞれの生物の生態特性に応じて、生息・生育空間のつながりや適切な配置が確保された生態的ネットワークを形成していく必要があります。

国土の総合的点検(平成16年5月・国土審議会調査改革部会報告)

第3章 第2節 4(2) 水と緑のネットワーク化

湿地、里地里山、緑地などを保全・再生するとともに、河川などの「水の軸」と、森林、丘陵地や斜面の樹林地・緑地などの「緑の軸」を保全し、これらの質と連続性を高め有機的にネットワーク化
する必要がある。

緑の回廊構想の推進(国土交通省)

道路・河川・公園等の事業間連携による水と緑の骨格軸の形成により、都市の熱環境の改善、生物多様性の保全、防災性の向上、良好な景観の形成、緑豊かで快適なレクリエーションの場の形成など、水や緑の持つ機能を複合的・効果的な発揮を図る取り組みを推進



